

全体配置計画 (案)

1 一体的なエリア整備

点在している行政機能等をエリアとして一体的に捉えなおし、憩いの場、市民同士の交流をつくりだすことを目指します。

また、今回の整備対象範囲外である本庁舎との関係も踏まえた整備を行います。

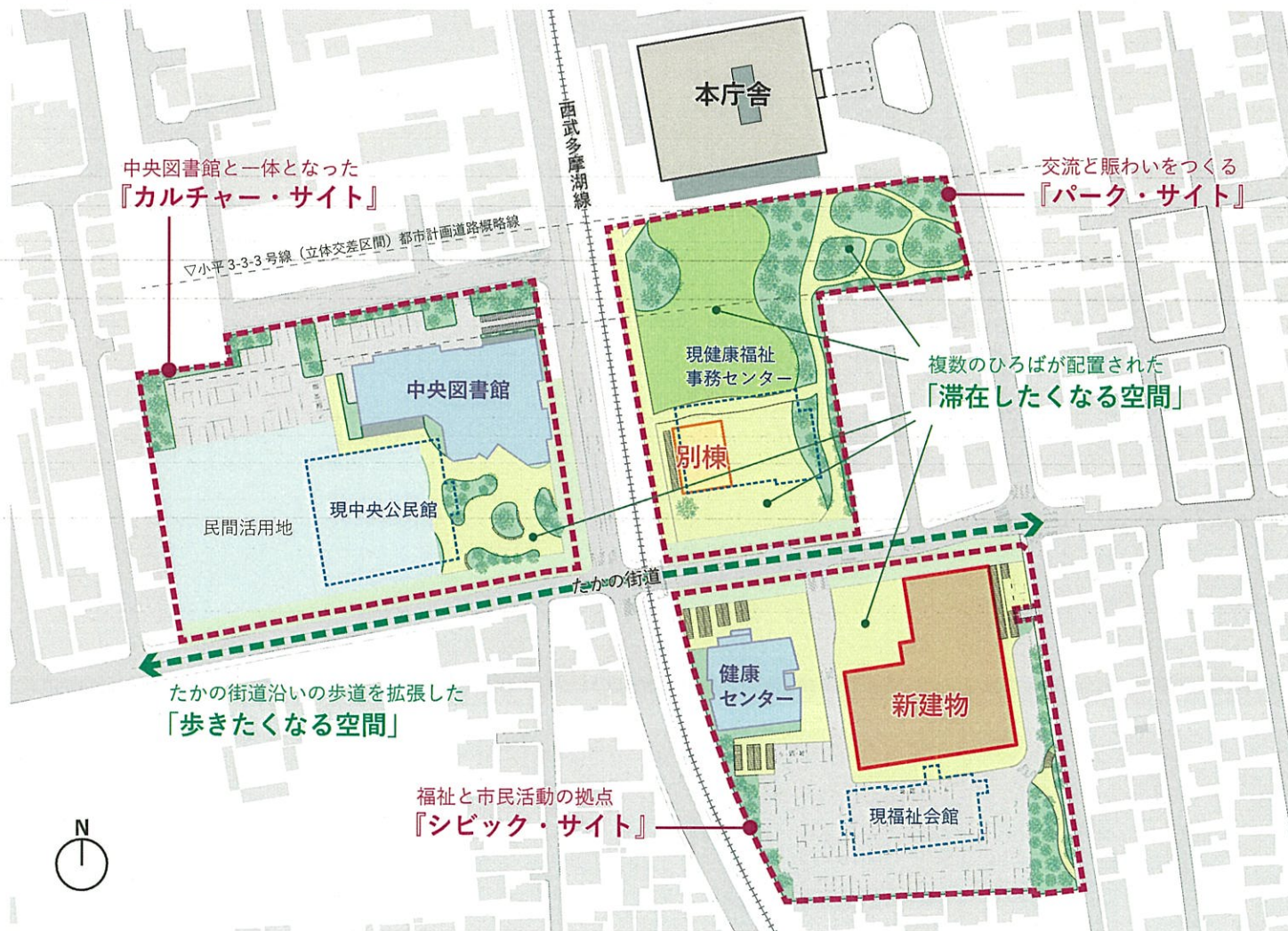
憩いの場をつくることにより、市民がくつろぎ、滞在し、各々の既存の施設等の利用者同士、また新たな利用者との交流を広げていくことを目指します。



2 配置計画

・エリア内に複数のひろばを配置し「滞在したくなる空間」、たかの街道沿いの歩道に拡張帯を設け「歩きたくなる空間」を創出します。

・新建物を福社会館前市民広場に建築し、健康福祉事務センター跡地のひろばを健康センター、本庁舎、中央図書館をつなぐ結節点とします。



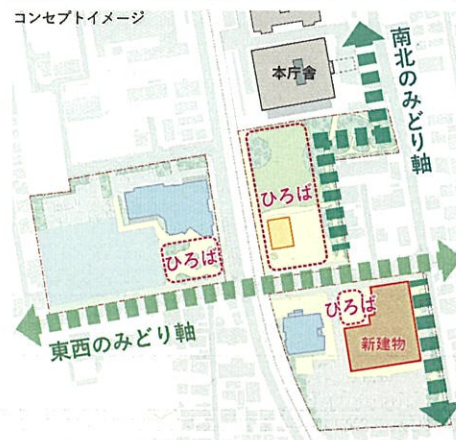
別棟による交流と賑わいの創出

当エリアを利用する全ての市民からのアクセスが最もよい健康福祉事務センター跡地（当エリアをつなぐ結節点）に、カフェ（運営は民間事業者を想定）とオープンなつくりの多目的室を併設した別棟を建築します。

別棟の多目的室における市民の活動や、市が情報発信したいイベントを実施することで、ひろばやカフェの利用者がその様子を見て、興味・関心を持つことが期待できます。また、健康センターに乳幼児健診等で訪れた子育て世代にもひろば利用を促し、多様な世代の交流が図られるようになります。

3 ランドスケープゾーニング

コンセプトイメージ



(1) 緑のえんがわ

たかの街道の歩道に沿って敷地内に5m程度の拡張帯を設けます。

歩行者の安全に配慮するとともに、魅力的な空間となるような樹木選定を行い、東西に分かれたエリアをつなぎます。



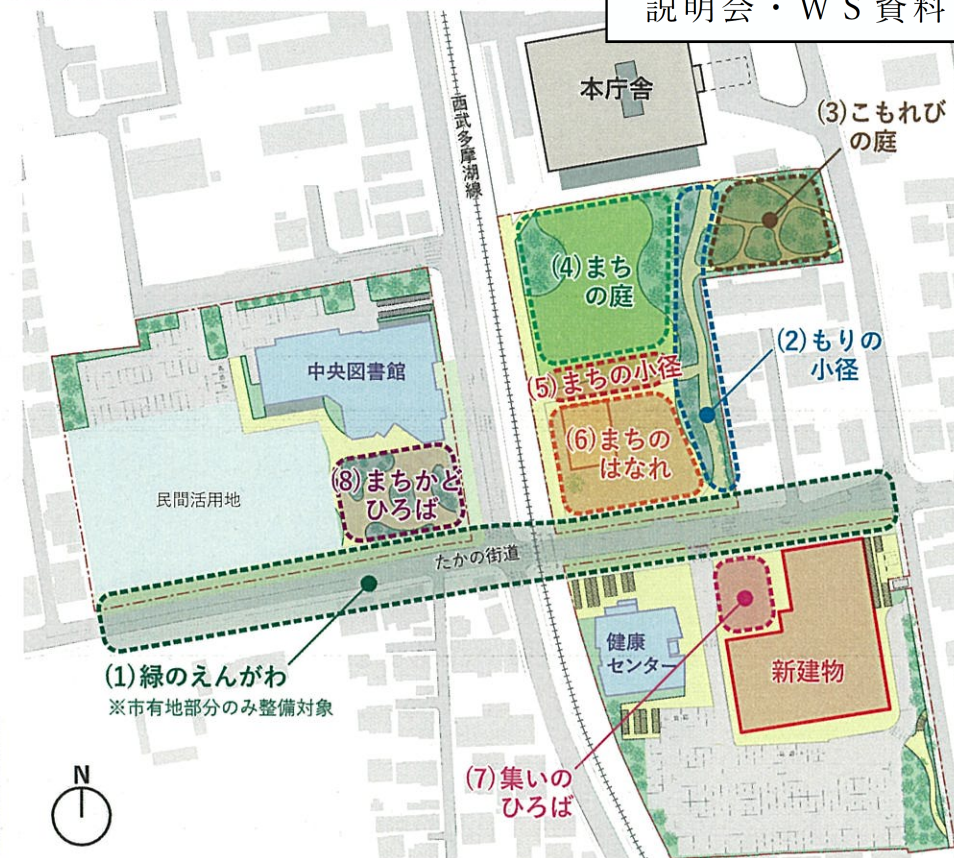
(2) もりの小径

本庁舎から新建物までのひろば内に遊歩道を設け、エリア内の利便性を向上させます。既存の雑木林の風情を残しながら、南北に分かれたエリアをつなぎます。



(3) こもれびの庭

樹木の間伐や林床植栽の補植など、最小限の改変をするとともに、ベンチ等の設置により、樹木に囲まれ落ち着いて滞在できる広場とします。



(4) まちの庭

市民がくつろぎ交流したり、見通しの良い芝生舗装で、親子ピクニックやヨガなどのウェルネス活動等ができる広場として整備します。



(5) まちの小径 (広場動線)

広場と一体となった、小遊具などのある憩いと交流の歩行空間とします。



(6) まちのはなれ (別棟建設予定地)

イベントスペースや座って集まれる場所のある憩いと交流の広場です。



(7) 集いのひろば

新建物と一体的に使われる動線空間として整備します。



(8) まちかどひろば

建物と広場の間に散歩道やベンチ等を設置し、図書に関するイベント等の開催もできる動線空間とします。



参考 1
令和 5 年 1 月
説明会・WS 資料

新築建物建築計画 (案)

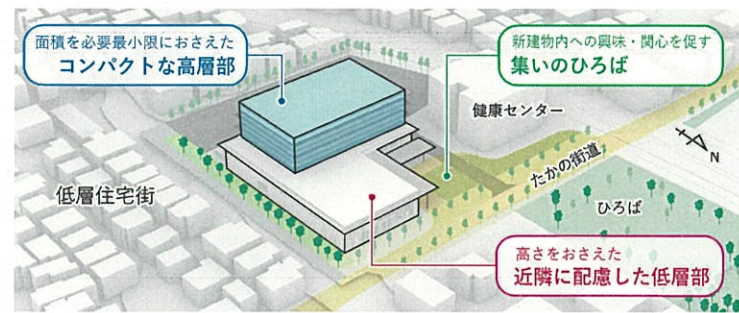
7 配置計画

(1) ひろばに開いたL字配置

L字配置により、ひろばからの見通しの良さを確保し、新築建物内への興味・関心を促します。また、屋内外一体的な市民活動等により、ひろばと新築建物の連続性を生みだします。底の設置について検討します。

(2) 圧迫感をおさえたボリューム配置

隣接する住宅街に配慮し、高層部をセットバックさせたボリュームとします。



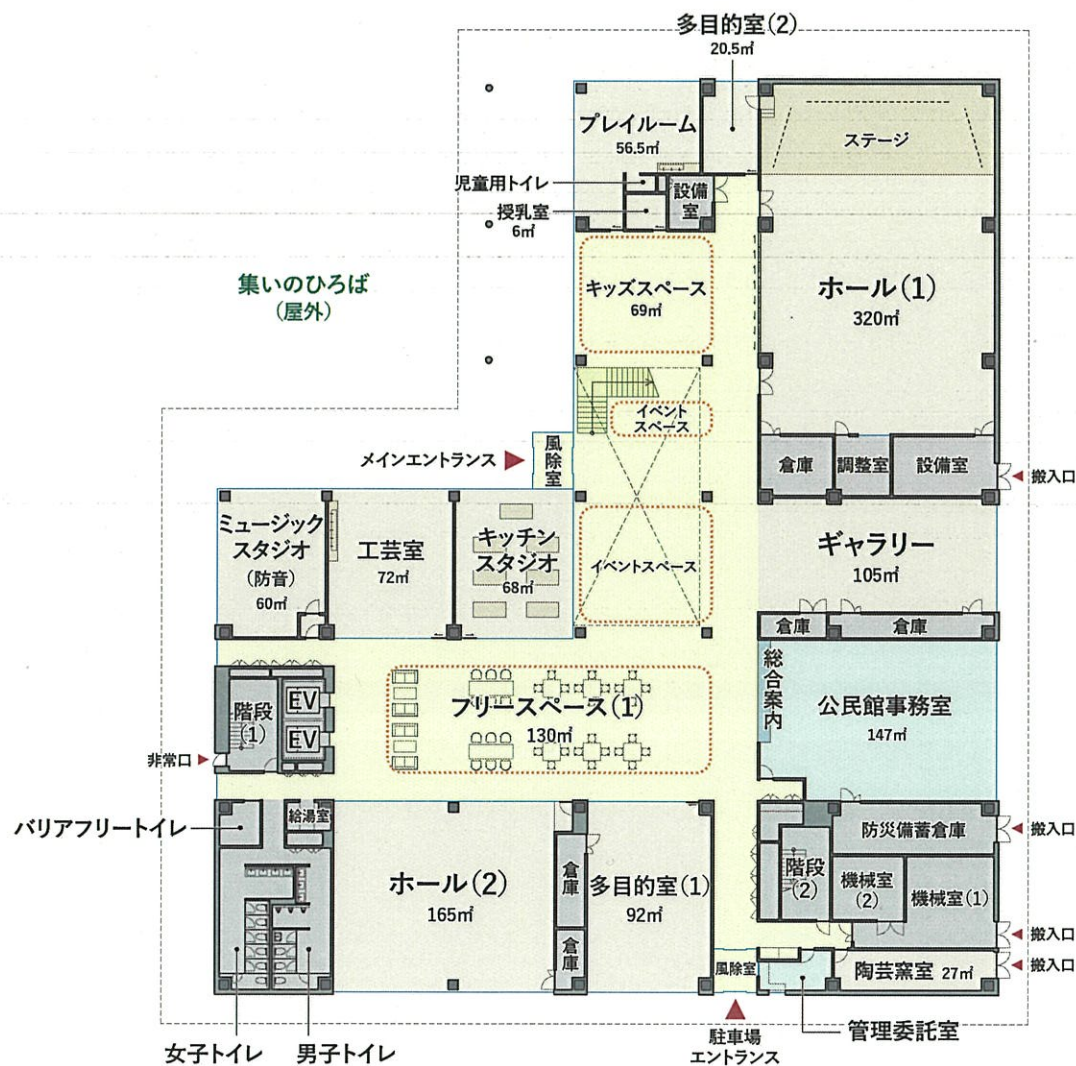
8 フロア構成

- ・福祉事務機能の利用者のプライバシー確保や、相談しやすい静かで落ち着いた環境への配慮等の観点を踏まえ、また、福祉事務機能の利用者にも、フリースペースや生涯学習・集会室機能などの交流の場、憩いの場が活用されることも目指し、福祉事務機能を4,5階に、フリースペースや生涯学習・集会室機能を1,2階に配置します。
- ・福祉事務機能の利用者に対しては、複数のエレベーターなど円滑な移動に配慮した設備の設置や、わかりやすいサイン計画などにより、移動の負担の軽減に努めます。
- ・生涯学習・集会室機能を1,2階に配置することで、新築建物前のひろば等からの見通しを良くし、市民活動のオープン化の効果を高めます。
- ・フリースペースを立ち寄りやすい1,2階に配置することで、様々な人や世代が気軽に集い交流する場を創出します。また、フリースペースは学生が勉強する場としての活用も検討します。
- ・キッズスペースを1階に配置することで、健康センターやひろば等を利用する子育て世代にも魅力的で使いやすい施設を目指します。

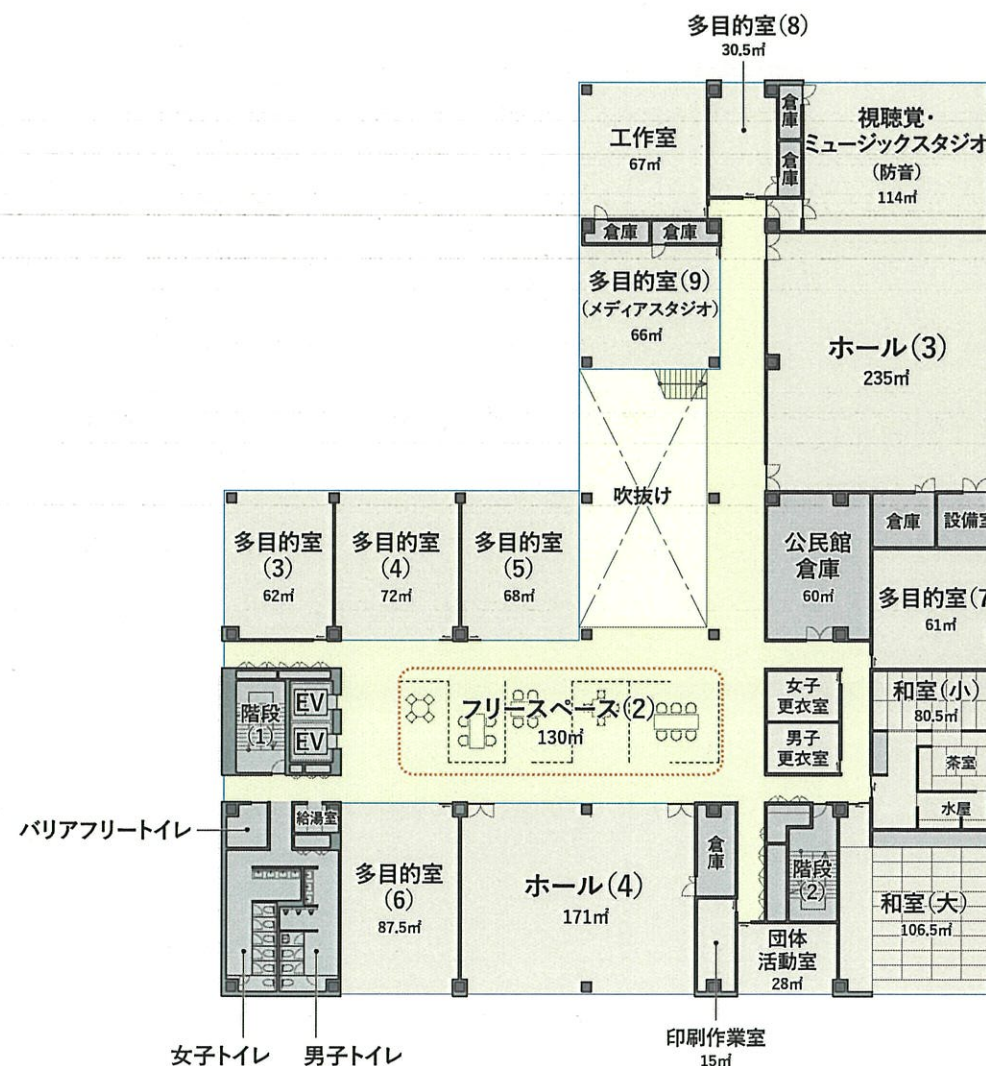
9 生涯学習・集会室機能の配置 (1-2F)

- ・市民活動に対する興味・関心を持ってもらうことを目指すため、1,2階の生涯学習・集会室機能については、屋外のひろばや建物内のフリースペースから、各室内の活動が見えるようなガラス張りのような空間とし、オープンな作りや配置にします。
- ・1階については、ホール、工芸室、キッチンスタジオなどの動きのある活動を行う部屋を中心に配置します。
- ・本庁舎が被災した場合を想定し、災害対策本部の代替施設としての機能を備えます。1階フロアや新築建物前のひろばにおいては、災害ボランティアセンターの開設を想定しています。避難所指定については今後検討を行います。

	屋外機器置場	RF
	福祉事務機能	5F
	福祉事務機能	4F
	行政機能	3F
	生涯学習・集会室機能、フリースペース	2F
集いのひろば	生涯学習・集会室機能、フリースペース、キッズスペース	1F 車寄せ



1F
延床面積：2157㎡



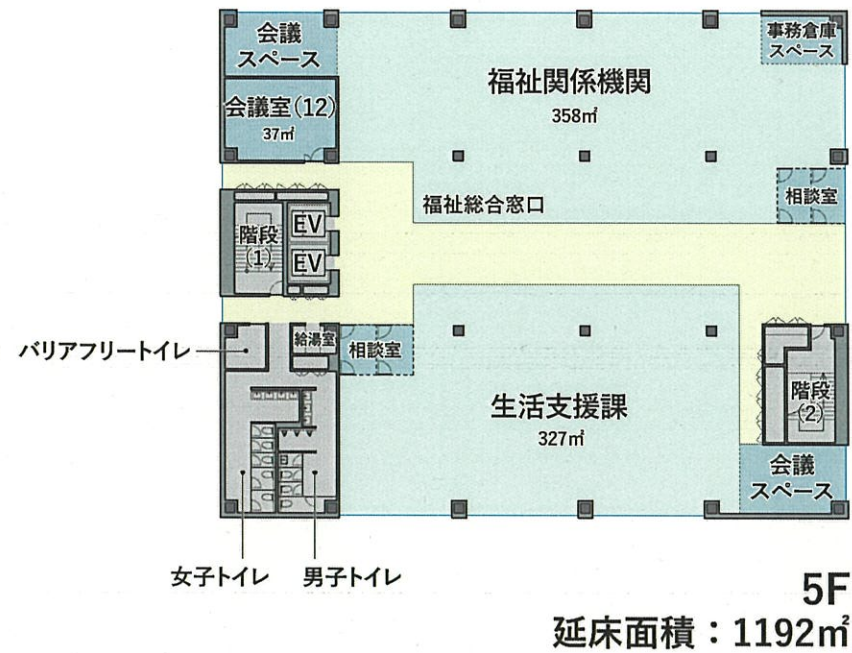
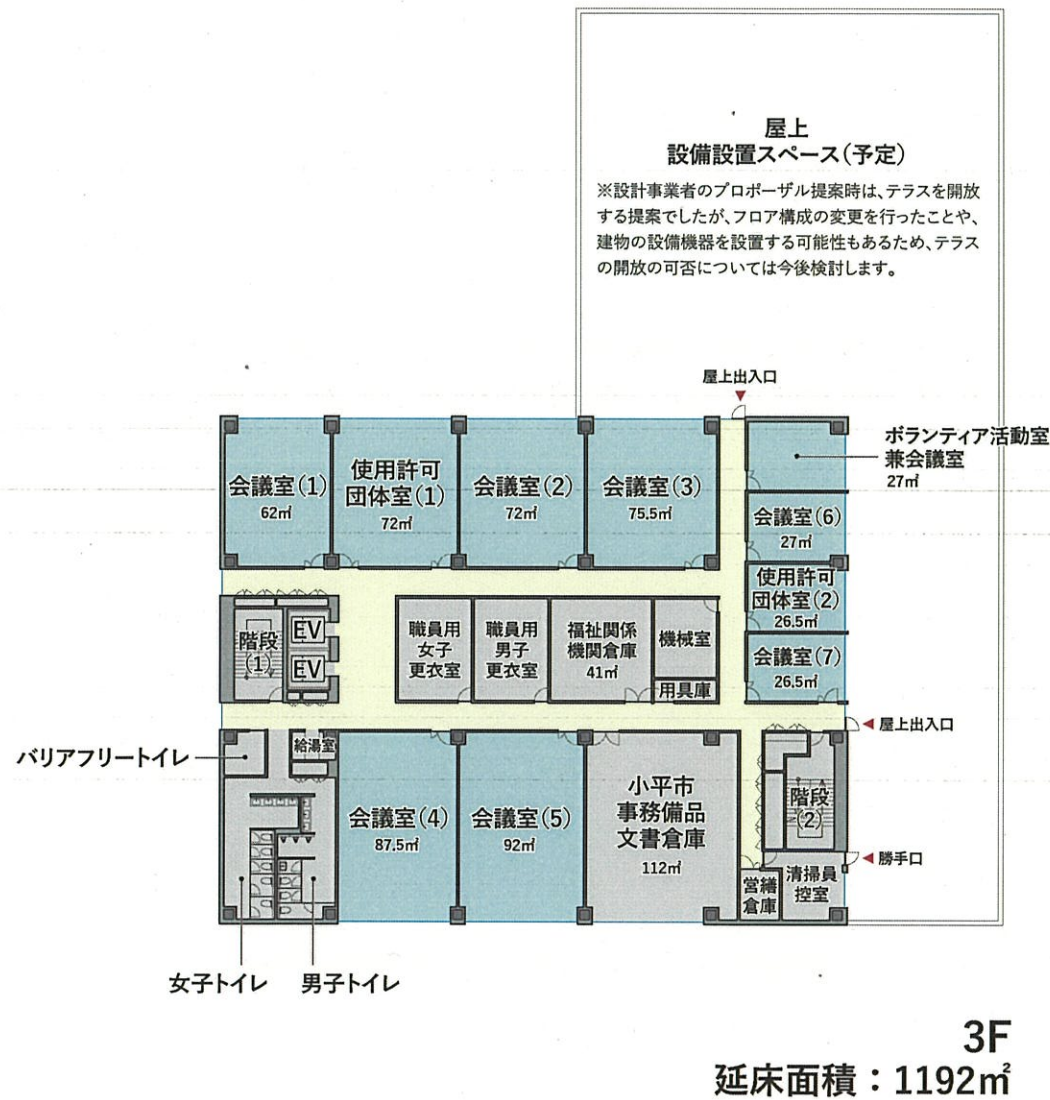
2F
延床面積：2024㎡



10 福祉事務機能・行政機能の配置 (3-5F)

- ・相談先を迷う方や複合的な福祉の相談に対応するため、5階に福祉総合窓口を配置します。
- ・3階は新建物内の行政機能の会議室や倉庫を設置します。

1-5F合計延床面積：7757㎡



11 新建物のバリアフリーに関する設備

- (1) トイレ
- ・障がい者等に必要の個別機能トイレを分散配置(機能分散化)する「バリアフリートイレ」(高齢者障害者等用便房)を設置するとともに、異性の親子なども使用できる、ジェンダーフリーにも配慮した計画とします。
 - ・多くの市民の利用が想定される1,2階の男女トイレには、ベビーチェアやおむつ替えシートを備えます。
- (2) エレベーター
- ・車椅子利用者や市民活動に要する荷物の移動が想定されることから、大きめのサイズを考慮する必要があるため、13人乗り2台の設置で検討を進めます。また、救急搬送等が可能なトランク付きの仕様を想定します。

(参考) 面積比較表(生涯学習・集会室機能、フリースペース等機能)

中央エリアの整備前				中央エリアの整備後			
施設名	階	部屋名	面積㎡	施設名	階	部屋名	面積㎡
中央公民館	B1	和室(大)	100	新建物	1F	ホール(1)	351
		和室(小)	75			ホール(2)	172.5
		工作室	49			多目的室(1)	103
		音楽室	63		多目的室(2)	20.5	
		実習室	143		ミュージックスタジオ(防音)	62	
		保育室	78		ギャラリー	129	
	1F	レクリエーションホール	156		キッチンスタジオ	68	
		団体活動室	30		工芸室	72	
		ギャラリー	161		陶芸窯室	27	
		視聴覚・音楽室	134		プレイルーム	65.5	
	2F	印刷作業室	16		ホール(3)	249	
		工芸室	70	ホール(4)	185.5		
		ホール(控室含む)	266	多目的室(3)	62		
		学習室(1)	43	多目的室(4)	72		
		学習室(2)	21	多目的室(5)	68		
		学習室(3)	33	多目的室(6)	87.5		
		学習室(4)	94	多目的室(7)	61		
	屋外	講座室(1)	74	多目的室(8)	30.5		
		講座室(2)	113	多目的室(9) (メディアスタジオ)	72.5		
		暗室	21	和室(大)	106.5		
福祉会館	1F	図書資料閲覧室	10	和室(小)	80.5		
		陶芸窯	44	視聴覚・ミュージックスタジオ(防音)	124.5		
	3F	和室ホール	190	工作室	73.5		
		第一集会室	112	団体活動室(図書資料閲覧機能含む)	28		
		第二集会室	76	印刷作業室	15		
		第三集会室	37	男子更衣室	15		
	4F	第四集会室	35	女子更衣室	15		
		談話室	37	別棟(想定) 1F	多目的室(10)	60	
	5F	第五集会室	34	多目的室(11)	60		
		小ホール	190	合計	2537		
合計	合計	2839					

施設名	階	スペース名	面積㎡	施設名	階	スペース名	面積㎡
中央公民館	1F	市民交流ロビー(カフェ客席含む)	130	新建物	1F	エントランス(イベントスペース含む)	148
	2F	ロビー	34			フリースペース	130
福祉会館	1F	エントランス	48			キッズスペース	69
	5F	ロビー(椅子収納庫含む)	129	2F	フリースペース	130	
合計	合計	419	別棟(想定) 1F	カフェ客席	75		
	合計			合計	552		

総合計(部屋+スペース) 3258 総合計(部屋+スペース) 3089